

令和 6 年度 事務事業一覧表(シート作成成分を除く)					担当課		保健課		担当G		健康増進グループ		作成日		令和	6	年	7	月	1	日	作成
振興計画体系					総合戦略体系		事業名	事業目的	事業内容	令和6年度 事業費(千円)					実施状況	成果	課題	今後の方向性				
										国県支出金	その他 特定財源	一般財源 (志基金含む)	合計	前年度比								
4	1	2	4	7	食と健康のサポーター活動支援事業	食と健康のサポーター活動により市民が良い習慣を身に付け、食生活の改善が行なえるようその活動を支援する。	食と健康のサポーターの地域活動(調理講習会等)に対する費用の負担及び指導や助言。			300	300	0	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、保健課の母子保健事業やふれあい食体験事業について事業再開できた。自主活動として、地域の小集団で食生活改善の普及活動をしている。また、資質向上のため研修会や調理実習などは積極的に行われている。 令和5年度 2人養成	地域に根差した活動が継続できている。	食と健康のサポーター活動を理解し、目指す人が少ないため、人員の確保が難しい。	継続						
4	1	2	4	7	健康づくり事業	市民一人ひとりの健康づくりを推進するため、個人の意識啓発を行う。	①健康づくり推進員養成 ②健康相談 ③訪問指導	22		600	622	△ 166	【令和5年度実績】 ①12人養成 ②99回 433人 ③74人	地域の身近な方が推進員となり、活動していただくことにより、健康意識の向上につながっている。健康	健康づくり推進員がいない地区がある。健康づくり推進員の活動の場を検討する必要がある。	継続						
4	1	2	4	7	自殺対策事業	一人で悩まず相談することで解決への糸口を見出すことができる。また本人がSOSを発することができ、周囲もSOSに気づき関係者へつなぐことで誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す。	①自殺対策ネットワーク会議の開催 ②自殺対策本部会議等の開催 ③ゲートキーパー養成講座の開催 ④自己判断システムこころの体温計の開設 ⑤こころの健康づくり相談会の開催	176		156	332	4	【令和5年度実績】 ①4回開催 ②2回開催 ③7回 278人 ④アクセス数 延8,066人 ⑤7回 26人	市内の5中学校で「SOSの出し方に関する教育」を実施することで、若年者への自殺対策を推進につながっている。	自殺死亡率は、県・国より高い傾向にある。関係機関と連携を図り、本市の実情を捉えながら事業を展開していく必要がある。自殺対策計画に沿った事業に取り組むとともに、悩みを抱えた方が相談しやすい機会を作っていく。	継続						
4	4	3	4	7	若年末期がん患者に対する療養支援事業	在宅での末期がん治療に係る経済的負担を軽減することにより、最期まで自分らしく安心して日常生活が送れる。	若年の末期がん患者が、住み慣れた自宅で、最期まで自分らしく安心して日常生活が送れるよう在宅における生活を支援し、患者及びその家族の負担の軽減を図ることを目的とした訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、福祉用具購入を行う。	216		216	432	0	【令和5年度実績】 実績なし			継続						
4	4	3	4	7	がん患者アピアランスケア支援事業	がん患者に対し、手術、放射線療法又は化学療法に伴う脱毛又は乳房切除による精神的負担を軽減するために使用する医療用ウィッグ等及び乳房(胸部)補整具の購入費用の一部を助成し、がん患者の経済的負担の軽減と、治療や就労等	がん患者が手術、放射線療法又は化学療法に伴う脱毛又は乳房切除に対して、医療用ウィッグ等及び乳房(胸部)補整具の購入費用の一部を助成する。	50		50	100	40	【令和5年度からの新規事業】 ウィッグ購入助成 3件			継続						
4	4	3	4	7	造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成事業	造血細胞移植(小児がん等の治療)を行った患者に対し、ワクチンの再接種を行うことにより、治療後の免疫が低下もしくは消失した状態から患者の感染症発症予防や症状の軽減を図る。	造血細胞移植(小児がん等の治療)を行った患者に対し、ワクチンの再接種を行った、接種費用を助成する。	101		101	202	22	【令和5年度からの新規事業】 実績なし			継続						
4	1	3	4	7	医師確保に向けた情報配信	小児科開設に向けた情報を配信し、医師の確保に努める。	小児科医師確保に向けた補助金の内容等を配信する業務を委託する。			209		209	【令和6年度からの新規事業】			新規						